

共に生きる

会長就任にあたって



初夏の候 会員企業の皆様におかれましては、益々ご清栄のことお慶び申し上げます。平素は当協議会の活動に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

第19回（令和5年度・2023年度）甲賀市企業人権啓発推進協議会総会において、江籠前会長の後任として、会長の大役を仰せつかりました岸野でございます。

歴代の会長、役員、会員皆様が脈々と築きあげてこられた人権啓発の様々な活動とその心を継承し、当協議会の主旨であります「基本的人権が尊重された、差別のない明るい職場づくり」の実現に向け、役員一同、誠心誠意、取り組んで参りますので、今後ともご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、ここ約3年間は新型コロナウイルスの世界的感染拡大などにより、私たちの生活や行動、企業活動が制限され閉塞感を感じてきましたが、今年5月8日に感染症法上での取り扱い見直しなどにより、コロナ以前の生活や企業活動を取り戻して来ています。当協議

会の活動もこの影響を受け、活動を制限せざるを得ませんでしたが、今年度は従来私たちが行ってきた、行っていきたい活動を徐々に取り戻して参りますので、会員皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

人権に関しましては国際的にロシアのウクライナ侵攻はじめ世界各地での紛争などによる深刻な人権侵害が続いています。また、私たちの周りにも同和問題をはじめとする、様々なハラスメントやインターネットでの誹謗中傷など様々な差別や、グローバル化や多様化の流れの中で、多くの人権問題、課題に向き合っていかなければなりません。「差別のない明るい職場づくり」をめざし、当協議会の研修や現地視察、啓発活動などを通して、会員皆様とともに学習し、学んだものをそれぞれの職場や地域・家庭に持ち帰り差別のないまちづくりの輪を広げていただけることを期待しております。この実現に向け、当協議会の人権啓発活動を推進していく所存です。今後とも、会員企業皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

甲賀市企業人権啓発推進協議会

会長 岸野 幸廣

甲賀市企業人権啓発推進協議会 第19回(2023年度)総会書面決議

賛成多数で承認される!!

甲賀市企業人権啓発推進協議会第5回役員会において、新型コロナウイルス感染症が終息に至っていない現状を鑑み、慎重に総会のありかたを検討いたしました。滋賀県及び甲賀市のリスクレベルはレベル1にありましたが感染者は発生しております。

このような状況をふまえ、当協議会役員会において慎重に審議をした結果、第19回（2023年度）総会開催を中止し書面決議での承認を求めることとなりました。

書面決議の結果（4月21日締切）【表決書提出 205票】

第1号議案	2022年度事業報告について	賛成	205票	反対	0票
第2号議案	2022年度決算について	賛成	205票	反対	0票
第3号議案	2023年度事業計画（案）について	賛成	205票	反対	0票
第4号議案	2023年度予算（案）について	賛成	205票	反対	0票
第5号議案	2023年度役員（案）について	賛成	205票	反対	0票

で全議案賛成多数により承認いただきました。

今年度も、甲賀市企業人権啓発推進協議会役員一同、協議会設立趣旨を基本に運営していく決意です。会員の皆様には、引き続き協力、参加をお願いいたします。

障がい者雇用に係る 学習・懇談会に参加して

令和4年(2022年)11月22日(火)に甲南高等養護学校にて、障がい者雇用に係る学習・懇談会に役員・事務局10名で参加させて頂きました。

甲南高等養護学校は、開校16年目を迎えられ、滋賀県内にある高等養護学校4校のうちのひとつで、県内で一番の生徒数を受け入れておられます。また、甲南高校と併設されていることもあり、調理室などの特別教室を使用することができ様々な経験が積める学校です。

授業を見学させて頂くと、情報の授業では、企業での実習の報告をパワーポイントの作成から発表まで生徒自身が行っておられました。発表の内容は、高校生らしい素直な気持ちや実習を通じて生徒自身が良かった点、悪かった点など感じたことや仕事に対しての考え方など後輩に向けたアドバイスとなっていました。一年生は3日間、二年生は二ヶ所の企業で各5日間の実習があり、実習を通じて



甲南高等養護学校の説明受講

生徒自身が自分を見つめるとても良い制度だと感じました。企業側にとっても、障がいがある方の受け入れに際して、仕事の切り出しに着目することは、業務改善の一步となり仕事のマニ

ュアル化も進めることが出来るのではないかと感じました。

二年生から福祉暮らしコースと農業ものづくりコースに分かれて専門的な学習をします。これはプロフェッショナルな人財を育てるというより、介護の場面で人との接し方や相手の気持ちを考えて行動すること、立ち振る舞いや所作、人とのコミュニケーションの取り方や傾聴などを学ぶことが目的となっています。また、農業では作物の栽培だけでなく体の使い方や体幹などを鍛えることも学習します。

この学習会のはじめに、サッカーの全国大会で優勝に導いた野洲高校の元監督山本副校長先生の「子供たちの夢を育てられる学校にしたい」という言葉が印象的でした。その言葉から健常者、障がい者に関わらず、生徒が目標を持って、成長できる学校づくりをされていると感じました。また、将来の仕事に繋がる具体的な学習の様子を見学することができ、企業側も障がい者の方だけでなく、どの人においても働きやすい環境を準備することが必要と感じた研修でした。

(株ジーテクト 東川弘美・記)



実習説明受講の参加者

総会特別研修会開催

第19回総会(2023年)は書面開催し、特別研修会はハイブリッド研修で実施しました。研修会冒頭に2022年実施の人権標語優秀作品の表彰が行いました。

テーマ:

「人権課題の解決に向けて～同和問題から考える～」

講師:奈良大学文学部教授 井岡 康時 さん

【研修内容】

【1】「ビジネスと人権」に関する行動計画(2020-2025)の策定

1. 2020年10月、政府は「ビジネスと人権」に関する行動計画(2020-2025)を策定、この計画が今後の企業への指導指針の基準となると思われる。

①近年、企業による人権尊重の必要性について国際的な関心が高まっている。また、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に当たっては、人権の保護・促進が重要な要素と位置付けられている。

②企業に対し、企業活動における人権への影響の特定、予防・軽減、対処、情報共有を行うこと、人権デューデリジェンスの導入促進への期待がされている。

③責任ある企業行動の促進を図り、企業活動により人権への悪影響を受ける人々の人権保護・促進、ひいては、国際社会を含む社会全体の人権の保護・促進に貢献すること、日本企業の企業価値と国際競争力の向上、及びSDGs達成への貢献に繋がることが期待されている。

【2】人権を考えるための視点

1. なぜ差別や排除、ハラスメントなどの人権侵害事案がなくせないのか?

滋賀県人権に関する県民意識調査(2011年・16年・21



熱心に聴講の参加者

年 滋賀県HPデータ)説明

実態を知らずイメージにひきづられているものが多いのではないかと

2. 部落差別はどのように発生するのか

①奈良本辰也(立命館大学教授)『部落の歴史と解放運動』1975年

②中学校社会科歴史分野の教科書においても変化している。1986年、2011年と研究検証の結果表現・教え方も変化している。

このような変化を知ることも重要である

【人権課題解決に向けて】

1. 人権課題に取り組むことの利点

- ①職場環境の向上
- ②人材育成、人材確保
- ③企業価値の向上
- ④リスク回避



人権啓発標語入選者のみなさま

・人権概念の多様化とともに、さまざまな人権主張が生まれており、その軋轢の解決策の一つとして訴訟が増加すると思われる。企業として人権問題の認識を深めておくことで、こうしたリスクを回避し、もしくは管理しやすくなる可能性が生まれると考えられる。

・新たな人権課題の提起

*過去においてもおそらく確実に人権課題として存在していたはずだが、当事者が少数などを背景に容易に表面化してこなかった問題が注目されるようになってきた。

*今はまだ取り上げられていなくても、今後、新たに気づかれ、見出される人権課題が表れてくると考えておくべきではないか。

差別は・一つ一つの差別の問題は解決する可能性はあるが、差別を無くすという人権課題解決は難しいと締めくくられました。

当日の参加者は、会場33名、Zoom34名、事務局3名でした。

令和5年度（2023年度）役員体制（専門部体制）

役 職	氏 名	企業・事業所名
会 長（雇用部長）	岸野 幸廣	住友電工ウインテック(株)
副会長（雇用部）	中嶋 大展	甲賀バラス(株)
副会長（雇用部）	澤井 成年	ショット日本(株)
副会長（雇用部）	藤岡 正行	(株)コーガイソート
副会長（雇用部）	森澤 栄樹	(株)アークレイファクトリー
事務局長（雇用部）	北川 勝之	甲賀農業協同組合
理事（啓発・広報部長）	田中 健二	近江鉄道(株)土山サービスエリア
理事（啓発・広報部）	内田 宏文	ニッポンロジパック(株)
理事（啓発・広報部）	石田 一樹	(社福) 甲賀学園
理事（啓発・広報部）	山田 裕子	(社福) あいの土山福祉会
理事（啓発・広報部）	木田 一志	山一化工(株)滋賀工場
理事（啓発・広報部）	山本 英樹	セキスイボード(株)

役 職	氏 名	企業・事業所名
理事（啓発・広報部）	東川 弘美	(株)ジーテクト
理事（啓発・広報部）	畑山 博行	(株)滋賀松風
理事（研修部長）	奥嶋たみ子	(社福) 信楽福祉会 信楽荘
理事（研修部）	中森 俊光	甲賀農業協同組合信楽支所
理事（研修部）	小林 保	甲賀協同ガス(株)
理事（研修部）	田井中 洋	滋賀交通 (株)水口営業所
理事（研修部）	上山 清和	西川ロース(株)甲賀事業所
理事（研修部）	神崎 加代	シノギテクノアドバンスリサーチ(株)
理事（研修部）	高阪 裕貴	医療法人社団仁生会甲南病院
理事（研修部）	谷口 佳枝	(株)滋賀銀行水口支店
監事	藤原 郁夫	(株)水口テクノス
監事	相見 聡	(株)滋賀銀行大原支店



熱心に聴講のZoom・会場参加者

従業員対象人権研修会（1月19日）開催

族の象徴であるアイヌ文様やアイヌ語など、その歴史や文化はほとんど知らず、とても興味深い研修内容でありました。

北海道白老町には、国立アイヌ民族博物館を含む民族共生象徴空間「ウポポイ」が開設されており、三重県松阪市の松浦武四郎記念館とあわせて近くに行くことができればぜひ寄ってみたいところとなりました。

初めて知ることの連続でありましたが、やはり尊重されるべき方々が差別を受けているという現実、コロナ関連・LGBTQ・他人権問題などと同様で、しっかりと向き合うべき課題がそこにはあるということを認識させられました。

東京オリンピック前の2019年5月、アイヌの人々が民族としての誇りをもって生活することができる社会の実現を図る「アイヌ施策推進法」が制定されるほど、アイヌの人々への差別が起きているという実態を知らなかったことが、私自身ショックでした。

様々な考え方・文化、価値観の違いを受け入れることができる寛容さを持つ、偏見を持たない目を養う、自分の目で真実を確かめるちからをつける、といったことが私たちに求められているのではないかと。松浦武四郎さんから学べるということとして研修締めくくりのメッセージ。このような気持ちを持つことだけでも、いま私たちがすぐに取り組めるのではないのでしょうか。



山本命 館長の講演に聞き入る参加者

令和5年1月19日(木)あいこうか市民ホールにおきまして、甲賀市企業内人権啓発窓口担当者第2回ステップアップ講座/企人協従業員対象人権研修が合同開催されました。参加人数は、zoom59名、会場32名、計91名。

研修は、「松浦武四郎とアイヌの人々」をテーマに、松浦武四郎記念館館長 山本 命（めい）さんに講師として登壇いただきました。

甲賀市企人協でアイヌをテーマにした研修は初めてです。

松浦武四郎記念館は三重県松阪市にあります。松阪市は、日野町ゆかりの蒲生氏郷が松坂城築城や城下町整備を行い松阪市の礎を築いた、という関係の深い地域。

この松浦武四郎さん、日本全国を生涯2万キロ歩いたそうです。その生涯をかけてアイヌを調査し記録したノートは緻密でわかりやすくまとめられており、絵心もあるなど、残された記録ノートは膨大ですごい財産を築かれた、その行動力に感嘆しました。

アイヌの歴史は、古くは縄文時代から始まり、アイヌ文化として独自の民族発展をしてきました。その文化はいまでもアイヌにとどまらず全国に浸透しており、例えばコンブ・シシャモ・ラッコ・トナカイなど日常で使う言葉は、アイヌ語です。また北海道や東北地方にはアイヌ語由来の地名が多々あるそうです。驚きでした。

アイヌ民族という言葉は知っていましたが、アイヌ民

（ニッポンロジパック(株) 内田宏文・記）



2023年度 事業計画

1. 会議

- 総会開催〈書面決議〉 4月
- 理事会・専門部会 適時

2. 研修部

- 総会特別研修 4月27日
- 経営者トップ研修 7月7日
- 人権フォーラム 9月
- 会員企業従業員対象フィールドワーク研修 10月
- 会員企業従業員対象人権研修 12月
- 役員対象フィールドワーク研修 2月

3. 啓発・広報部

- 広報誌『共に生きる』発行 年2回 6月・12月
- 会員企業向け啓発グッズの配布 6月～7月
- 甲賀市人権教育研究大会 9月
- 人権標語の募集 12月
- 人権標語ステッカーの配布 3月
- ホームページの更新(充実) 都度

4. 雇用部

- 役員対象障がい者雇用に係る学習会 11月

5. その他

- 会員獲得に向けた取り組み 年間
- 関係団体との連携 年間

甲賀市企業人権啓発推進協議会

人権標語入選作品表彰



価値観は それぞれ違ってあたりまえ 認めることから始めよう

甲賀バラス(株) 藤 澤 誠



相手を思えば変わるはず 使う言葉と接する態度

(株)ホタルクス 逸見泰弘

人権を正しく知る事学ぶ事 貴方の変化が周りも変える

日之出水道機器(株)滋賀物流センター 前川浩人

心の病にワクチンなし 周囲の理解が特効薬

(株)滋賀松風 松山健二

嬉しい言葉は忘れません 悲しい言葉は消えませんが

甲賀バラス(株) 山本幸弥

感謝の言葉は私から 心を潤す特効薬

(社福) 甲賀会 特別養護老人ホーム甲賀荘 中村彰宏

思いやり まずは行動 私から

トヨタ紡織滋賀(株) 白杉直子

リモートでも 心の距離は 離さずに

(株)コーガイソートープ 上野亜紀子

笑顔 優しさ 思いやり 目指そう 地域社会の 三冠王

(株)アーフレイファクトリー 植田しのぶ

SNS 投稿前に 一呼吸

(株)滋賀松風 小林道央

優しい言葉のアシストで 笑顔のシュートを決めて行こう

近畿労働金庫水口支店 新山小巻

間違いを 駄目だと言える その勇氣

ジェイドルフ製菓(株)土山工場 黒田耕史

7月は

「なくそう就職差別 企業内公正採用・人権啓発推進月間」です